

 日野町議会

議会だより

第7号

6月議会

(6月3日～26日)と
5月15日に開催された
臨時議会の結果を
お知らせします。



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん

写真:5月31日にグランドオープンした松尾公園の芝生広場

INDEX

トピックス6月議会・(特集)選挙投票率を考える	p.2～3
新選良13議員が初質問へ!	p.4～17
議案一覧・委員会報告	p.18～21
夏まちの話題・議会を身近に	p.22～23

滋賀県日野町議会
令和元年6月定例会号
(令和元年8月15日発行)

トピックス 6月議会



令和初、改選後初の定例会となった令和元年6月議会では、町道西大路鎌掛線改良工事、日野小学校のトイレ改修、消防ポンプ自動車の取得などが主な議案として上程され、全員一致にて全議案が可決されました。

町道西大路鎌掛線道路改良工事(その4)の

工事請負契約を可決

◆町道西大路鎌掛線道路改良工事の一部区間(580m)について指名競争入札が行われ、1億3,343万円にて株式会社奥田工務店(日野町)が落札しました。本件の議案審議は産業建設常任委員会に付託され、慎重審議の結果、委員全員が可決すべきものと決し、本会議にて全議員一致にて可決されました。

日野小学校のトイレ改修

工事の工事請負契約を可決

◆町立日野小学校の28基の大便器を洋式化し、26基の小便器も衛生的なものへ改修するなどの工事について指名競争入札が行われ、4,587万8,400円にて株式会社野中工務店(日野町)が落札しました。本件の審議は総務常任委員会に付託され、慎重審議の結果、委員全員が可決すべきものと決し、本会議にて全議員一致にて可決されました。

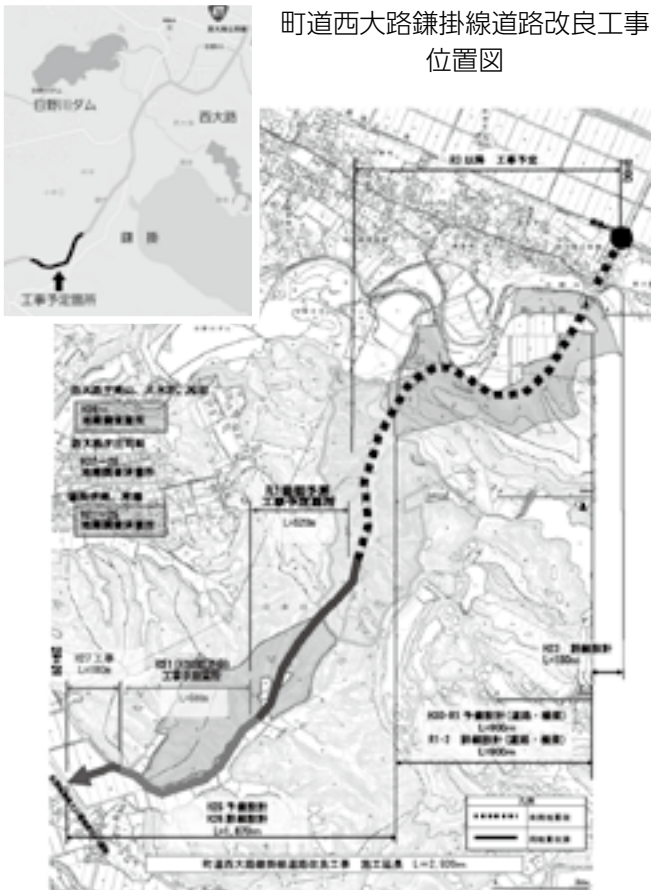
消防ポンプ自動車の

取得を可決

◆更新時期を迎えた日野町消防団第二分団(東西桜谷地区)の消防ポンプ自動車を取得するための指名競争入札が行われ、2,395万5,790円にて株式会社斉藤ポンプ工業(東近江市)が落札しました。本案の審議は総務常任委員会に付託され、慎重審議の結果、委員全員が可決すべきものと決し、本会議にて全議員一致

にて可決されました。取得時期は令和2年3月30日となっていますが、年内での取得および入魂式挙行を目指しています。また、今回取得する消防ポンプ自動車は、AT限定免許の消防団員に配慮したAT車となっており、バッテリーモニターも装備され、地域からの寄付によりカーナビや追加のサーチライトも装着されることになっており、取得後は日野町消防団第二分団詰所(中之郷)に配置されます。

町道西大路鎌掛線道路改良工事
位置図



今回の工事場所は

大字鎌掛地先(下図参照)で、工事期間は議決日である令和元年6月26日から令和2年1月29日までとなっています。

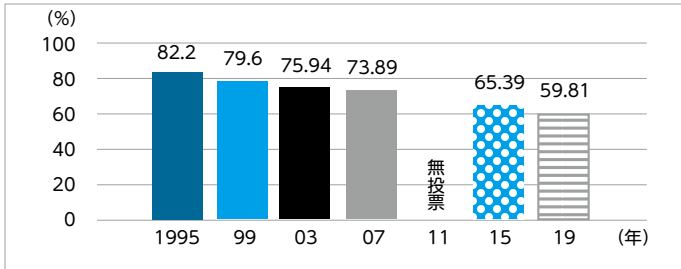
本校運営には大きな影響はないものと思われませんが、児童や職員員の安全には十分配慮して工事が行われます。

選挙投票率を考える

第1回目

日野町議会議員一般選挙を終え、改めて選挙投票率のことを連載シリーズで考えます。第1回目は分析がテーマです。

①日野町議会議員一般選挙投票率の推移

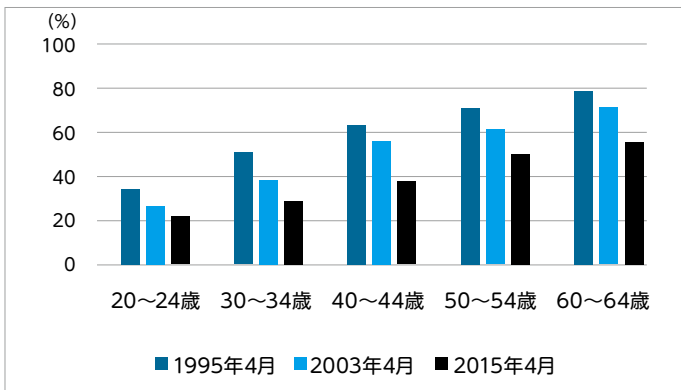


(データ 日野町ホームページより)

投票率は年々下がり続け、今回（2019年4月）の選挙が最も低い投票率となりました。

2011年4月の選挙は無投票でした。

②滋賀県議会議員一般選挙・年代別投票率の推移

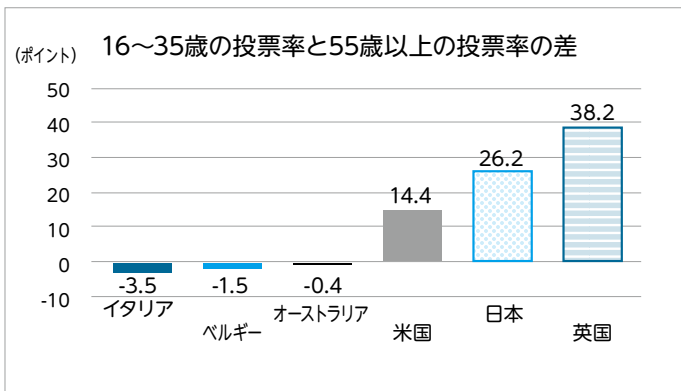


(データ 滋賀自治体問題研究所より)

どの年代の方の投票率も年々下がり続けています。

選挙年度と年代別の投票率の数値を見ると、2015年の20～24歳の方は22%です。また、1995年に20～24歳の方が20年後の2015年には40～44歳になっています。その投票率の差は若干上がってはいるものの、40%に満たない状況です。

③世界の年代別投票率の格差



(データ 滋賀自治体問題研究所より)

結果、ゼロポイントより低い国（若い世代の方が投票率が高い）は、イタリア、ベルギー、オーストラリアです。16～35歳の方が55歳以上の方より多く投票に行っています。中には投票義務制の国もあると言われています。

日本は、英国に次いで若い世代の投票率が悪く、ワースト2位になっています。

④まとめ

若い世代の方が投票に行けていないということは、若い人の思いが選挙に反映されていないこととなります。分かりにくい選挙や政治になっているのではと考えさせられます。

日本がワースト2位とは意外でした。次号では、なぜ選挙に行かないようになってきたのか考えていきます。

令和元年6月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名		質問内容	
1	山田 人志	1. 町議会に対する認識 2. まちの伝統を守る	P.5
2	後藤 勇樹	1. 児童・歩行者の安全確保を！ 2. 田舎体験で起きた事故と今後のあり方	P.6
3	奥平 英雄	1. 交差点の安全対策について 2. 高齢の方に安全で安心な道路を！！	P.7
4	西澤 正治	1. 通学・通園の安全対策強化を！	P.8
5	高橋 源三郎	1. 防災行政無線の活用状況について	P.9
6	加藤 和幸	1. 教員の長時間労働について 2. 道路改良計画の進捗と報知	P.10
7	山本 秀喜	1. 日野町の危機管理のあり方 2. 町道西大路鎌掛線と定住宅地整備計画の進捗 3. 家畜伝染病対策に伴う有害鳥獣駆除のあり方	P.11
8	池元 法子	1. 国保税の子どもの均等割の減免を 2. 「幼児教育・保育の無償化」の問題点	P.12
9	谷 成隆	1. 通学路の交通安全確保について	P.13
10	齋藤 光弘	1. ふれあい綿向山 DAY 開催支援を 2. 日野町老人クラブへの支援を	P.14
11	中西 佳子	1. 子どもの安全を守る対策を 2. 空き家対策について	P.15
12	野矢 貴之	1. 住民とまちづくりについて	P.16
13	堀江 和博	1. 住民意識調査について 2. ひきこもりへの対応について	P.17

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)

日野町議会インターネット中継

検索



町議会に対する認識

まちの伝統を守る



山田 人志 議員

町議会に対する認識

日野町議会には独特の空気や特殊性があり、その結果、議会の存在感が薄いのではないかと思っています。

そこで、第17期の最初に、町議会に対する執行側の認識を再確認する意味で、町長に一問一答で聞きました。

問 二元代表制で、与党・野党はあり得ると思うか。

答 二元代表制で、与党・野党はあてはまらない。

問 町長も議員の多くも政党選出ではないので与党・野党という表現は安易に使うべきではないと思うがどうか。

答 定義のはっきりしない言葉で使う人は使うので、自分が言うことではない。

問 日野町議会で分断・排除の論理を感じないか。

答 分断・排除の意味ははっきりしないのでわからない。

問 地域情報誌で「与党会派」「是々非々会派」と表現されていたがどう感じたか。

答 そういふ見方もあるのかと思った。

問 以前、議会の決議に関して「できないことはできない」という発言があったが、できないことを決議したと思っているのか。

答 執行側として判断できないことがある。

問 議員がまちづくりの先頭に立つのはどう思うか。

答 議員も含めて町民が先頭に立つことは望ましている。

まちの伝統を守る

日野町は「伝統を守るまち」といわれますが、少子超高齢化社会の到来で、近い将来、伝統が守れなくなるのではないかと危惧します。

そこで、文化的資源に限らず様々なまちの伝統の現状を

把握・整理し、政策を考えるきっかけとなるよう一問一答で関係課に質問しました。

問 祭礼行事は今のかたちを守っていくものと考えるか。

答 祭礼は長い歴史のなかで変化していて、現在も環境変化で従来のかたちを受け継ぐのが困難な場合がある。

問 歴史文化基本構想を策定する予定はあるのか。

答 法改正で文化財保存活用地域計画に引き継がれたが、その重要性は認識している。

問 暮らしのなかの伝統で、日野菜をどう見ているか。

答 農業生産だけでなく、日野菜を家庭で漬け食す文化を伝統として見ている。

問 お年寄りの経験や知恵を聞く施策や事業はあるか。

答 公民館や小学校で取り組みはある。さらに、お年寄りの経

験や知恵が必要という視点で考えていきたい。

問 伝統的な日常の風景・景観を守る施策はあるのか。

答 町景観計画策定の方針案を作成し、計画策定に向けて取り組んでいる。

問 森林環境譲与税で木造建築の可能性が広がったのではないか。

答 木材利用の促進がうたわれているが、当面の譲与税額では難しいのではないか。

問 工務店・商店など産業分野の伝統を守る考えは。

答 第5次総合計画に基づき地元工業の振興に努める。

議員のコメント

質問の時は噛み合わないところがありました。結果的に、関係者それぞれが議会の活性化を考えるきっかけになったと思っています。



後藤 勇樹 議員

児童・歩行者の安全確保を！ 田舎体験で起きた事故と今後のあり方

①②は大津市大萱6丁目の事故現場。③は東桜谷の中之郷交差点。④は南比都佐小学校前。大型車の通行が多いが小学校前から307号まで歩道にガードレール等の設置が無い。



児童・歩行者の安全確保を！

問 5月8日に大津市大萱で発生した痛ましい園児の死亡事故を受け、近年の当町における児童が絡む事故の発生状況や、危険箇所の特検、今後の対策などを伺いたい。また、着工中の町道西大路鎌掛線や着手中の県道西明寺安部居線の安全対策についても伺う。

答 (建設計画課) 直近の3年間で児童がらみの事故が10件発生した。事故後、通学路を中心に町内51箇所を点検し路面ペイント等6件を補修した。町道西大路鎌掛線では全線に2・5mの片側歩道を設置し、交差点等の安全も考慮する。県道西明寺安部居線でも歩道は同様。中之郷交差点は改良工事にて拡張されるが通学路として安全対策に努める。賀川神社前に予定している仮設道路についても急カーブになるが安全を十分に考慮する。交通取り締まり強化についても状況を見て関係機関に依頼していきたい。(学校教育課) 各学校に通学路の安全点検と通学の見守り等を指示した。またスクールガードへの見守り強化も要請した。

田舎体験で起きた事故と今後のあり方について

問 4月25日、田舎体験の受け入れ者が佐久良地先の農道にて、神戸市立中学校の2年女子に体験のためトラクターの運転をさせていたところ、

誤って約3m下の圃場に転落し、左上腕と左大腿骨を骨折し、頭部も切り傷を負うという痛ましい事故が起きた。事故の詳細および経過と、管理責任、田舎体験のあり方と今後の取り組みについて問う。



農道下3mに転落したトラクター

答 (商工観光課) 昨年は31校3700人を受け入れ、受け入れ家庭は110軒。日野町総合計画には町の重要施策と掲載しているが、(一社)近江日野交流ネットワークの事業であり町の事業ではない。圃場外での運転体験は禁止していたにも関わらず、受け入れ者が農道で運転させたことが原因。被害女子は2か月の入院と1か月のリハビリが必要。責任は受け入れ家庭、(二社)近江日野交流ネットワーク、町の3者にある。事故後に緊急理事会を開いて協議し、全受け入れ家庭を戸別訪問して機

械の体験を当面禁止する旨通達してあるので、事故後、今日(6月13日)までに既に7回の受け入れを行っており、今後も予定通り継続していく。(町長) 申し訳ないと思っていいる。被害者やご家族の気持ちに応えながら対応していきたい。商工観光課長や副町長には謝罪に行ってもらったが、今後も誠意をもって対応したい。

議員のコメント

大津の事故を教訓として、交差点の歩道にはクッションドラムを設置する、通学路表示を増やす等の対策を願う。田舎体験事業では、以前から飲酒状態で体験児童を鹿ウオッチングに連れて行くなどの問題を課長に指摘していた。管理者責任が問われると共に、慣れや馴れ合いからの気のゆるみを正す必要がある。

下のQRコードを読み取ると一般質問の録画が見られます。



交差点の安全対策について

高齢の方に安全で安心な道路を!!



奥平 英雄 議員

交差点の安全対策について

問 5月8日大津市の交差点で大変痛ましい交通事故が起きたことから、交差点の安全対策について質問しました。

①日野町の中で信号のある交差点、信号のない交差点、T字路の安全対策を何か考えているのか。

②小中学生の通学路や保育園児の散歩コースの中での交差点の安全対策はどのようにされるのか。

答 ①通学路となっている主要な交差点51箇所にて緊急点検を実施し、改善が必要な箇所については工事を発注しました。国道・県道において、1日あたり1万台以上交通量のある主要な交差点で緊急点検を実施され、町内の点検対象区間は、国道307号北脇地先からグリーンバイパス深山口交差点までとなっています。②幼児の散歩コースについては、職員同士で危険箇所等の再確認をし、散歩時には黄色

旗を活用し職員をプラス1名体制で実施することとします。小中学生の通学路における交差点の安全対策については、各学校に注意喚起の文書を発出してお



(国道307号松尾交差点の通学路)

り、職員への周知と通学時の交通ルールの遵守について、児童・生徒に指導をし、地区懇談会などでも通学路の危険箇所や、改善が必要な箇所について話し合っていたら、町と学校・家庭・地域が情報を共有しながら取り組んでまいります。

高齢者の方に安全で安心な道路を!!

問 道路のマンホール、グレーチングが雨降りには、大変危険な箇所があることから質問しました。

村井新町の山倉の東側にある道路で、マンホールが盛り上がり雨が降ると水溜まりができ大変歩きにくい状態です。大窪岡本町の道路にもマンホールが盛り上がったところがあります。大通りの道路際にある小さなグレーチングには滑り止めがなく雨降りには大変危険な状態になります。直せないか町にお聞きします。

答 町道村井奥師線、大窪音羽線、本町南1号線の現地を確認し、舗装・マンホール等それぞれ修繕が必要な箇所については工事を発注しました。また側溝などに設置している鋼製グレーチング蓋の維持管理についても引き続き適正に進めてまいります。



(村井地先のマンホールと凹み)

議員のコメント

交差点の安全対策については、日野町でも大津市のような事故が起こるまでに、安全対策をするよう要望しました。高齢の方に安全で安心な道路については、早い修繕対応をしていただきました。日野町内ではまだまだ道路や歩道の傷んでいる所があると思います。町でチェックをし、早い対応を要望しました。



西澤 正治 議員

通学・通園の安全対策強化を!

～まだまだある町内の危険箇所～

通学・通園の 安全対策強化を!

問 5月8日、大津市にて

保育園児2名が交通事故の巻き添えにて犠牲になられた。

この事故以降、全国で高齢者ドライバーによる事故が多発しており、交通安全対策の遅れで、何の落ち度もない幼児子どもの尊い命がいくつも奪われ続けている。

事故後、大津市の事故現場では安全対策工事が行われたが、一方、当町でも危険な箇所は多数あると感じる。これらの箇所の安全対策はどのようになされているのか?特に主要地方道土山蒲生近江八幡線の這い上がり地先では、電柱もあり、五月台、椿野台地域の学童通学路でもあり見通しも悪く、朝夕は特に危険な箇所となっている。この点についても対策を伺う。



色あせたグリーンベルトの表示



見通しが悪く朝夕の交通量も多い

答 (町長) 幼稚園、保育園、

こども園については、親が園内まで送迎することになってしまっています。送迎時の安全確保については、保護者に対して町よりお願

いしています。今回の大津市での事故以降、散歩につきましては、職員を増員し、十分に注意した中で実施しています。

主要地方道土山蒲生近江八幡線での危険箇所におけるグリーンベルトの維持修繕については、東近江土木事務所へ要望しているところです。

(教育長) 通学路点検については毎年4月に合同点検を東近江警察署、道路管理者である東近江土木事務所、町建設計画課、通学路アドバイザー、当該学校、学校教育課の職員が現地確認を行い、危険箇所の情報共有を図り、道路管理者、公安委員会により安全対策の検討を行っています。合同点検は町内を2グループに分け、隔年で実施しており、今年度は西大路日野、必佐の各小学校で実施しました。発見された危険箇所などがあれば、その都度学校を通じて、町に報告していただいています。

議員のコメント

今議会の一般質問では5人の議員が同様の件について町執行側にただされました。早急な改善策は示されませんでした。今後子どもたちの安全安心な通学・通園の対策強化を求めていきます。

大津市の事故現場

(写真手前から) 右折しようとした乗用車に前方から直進してきた軽自動車が接触され、横断歩道右側の歩道内で信号待ちをしていた園児たちに突っ込んだ。



防災行政無線の活用状況について



高橋 源三郎 議員

防災行政無線の活用状況について

問

今から30年前の平成元年、政府は日本のすべての自治体に対し、ふるさと創生事業と称して一律1億円の交付金を無条件で交付した。日野町もこの1億円を受けてふるさと創生事業をいくつか実施した。その内の一つとして、防災行政無線の整備がある。

近年、日本全国で台風被害や地震災害が多発する中、日野町においても台風被害は現実毎年発生しており、大きな地震もいつ発生してもおかしくない状況となってきた。こうした中で、この防災行政無線が毎年どのように活用されているのかお尋ねしたい。

①この防災行政無線の基地局（親局）は役場庁舎にあると思うが、現在これを管理している担当課は何課か。また、各公民館や辺地には支局（子局）があるが、全部でいくつあるのか。

②台風の時期、地域によっては緊急の避難勧告等が必要な場合があるが、このとき町は防災行政無線をどの程度活用されているのか。また、今までに活用された実績なり記録があれば教えてください。

③この防災行政無線は、平常時には各支局のスピーカーから毎日3回（3曲）メロディチャイムが流れているが、私の知る限りではこの3曲は曲目が30年間変わっていないように思うので四季に合わせて曲を変えてはどうか。ただ午後3時の細川雄太郎氏作詞の「あの子はたあれ」はそのままでよいと思う。また冬期には午後6時は真っ暗だがこの時間帯に「夕焼け小焼け」が流れるのは違和感を覚えるので何か良い方策はないか。

答 ①防災行政無線の基地局は本庁舎に設置しており、担当課は総務課。屋外拡声子局は町内に9局設置。日野公民館を除く各公民館6箇所と西明寺、熊野、小野の3箇所。

②活用状況は、主に気象情報などが発表された場合、ジェイアラート（全国瞬時警報システム）を通じ自動的に屋外拡声子局へ放送される仕組みになっている。なお、放送記録は無い。

③メロディチャイムは、吹鳴している回数や曲は地域により異なる。曲目は「歓びの歌」「野ばら」「夕焼け小焼け」「あの子はたあれ」の4曲とサイレン音がある。各地域において決定いただいており、区長会等で要望があれば対応する。



公民館の子局

問（再質問）

水害や土砂災害の時に避難行動を支援するため、今年の6月より警戒レベルを5段階に分けて運用が始まったが、避難勧告等はこれの防災行政無線を通じて発令されるのか。また災害が発生した場合、地域によって被害の状況が異なるが、ただ単に

ジェイアラートに従うだけでなく、必要があれば区長なり公民館の職員が直接に屋外拡声子局を使うことが出来るか。また停電した時はどうか。

答

警報等の気象情報を参考に、町から避難情報を発令する時は、町の担当職員が各区長にまず電話連絡を行う。住民はテレビテロップや日野める、区内の連絡などから避難を行う。

また、防災行政無線の屋外拡声子局の使用は、子局のボックスにマイクが設置しており、地元住民に放送できる。なお、停電時には親局は使えるが、子局は使えないので今後の課題となる。

議員コメント

災害時の避難勧告と避難誘導は人命尊重の観点から非常に重要であり、台風や水害、地震発生時には防災行政無線の果たす役割は大きい。それゆえ、日頃から各子局の活用やテスト放送なども機会あるごとに住民に周知することが重要と考えます。



加藤 和幸 議員

教員の長時間労働について 道路改良計画の進捗と報知

定数増で正規教職員のワクの拡大を

問 教員の長時間労働が話題になってきている。昨秋の厚労省・文科省の合同調査によると、中学校教員の一日平均勤務時間は11時間37分とある。

①日野中学でもこの数字と近似していると考えてよいか。時間外勤務の内容として、とりわけ改善に迫られている課題は。

②国などの指導もあって、部活動指導が一定改善されたと聞くが、どのように改善されたか。休日における練習や対外試合の日数・時間に変化はあったか。外部講師による「部活動指導員」制度の効果はどうか。

③定時退勤の奨励で逆に持ち帰りの仕事が増えたり、データの流失や不正防止のために持ち帰りが禁止される、といったようなことが報じられているが、日野中学の場合は。

答 ①町内各小中学校では時

間外勤務調査を行い、報告を受けている。日野中学の結果も同様である。授業準備や授業後の業務、生徒指導、保護者連絡などがあるが、とりわけ部活動指導は時間外労働の大きな要因。

②昨年度、「日野町中学校部活動ガイドライン」を作成し、朝練は基本的にやめ平日に1日、土日のいずれかを休むなど改善してきた。昨年度から外部講師による「部活動指導員」導入。

③仕事の持ち帰りは控えるようになっている。そのため、長時間労働をする教員の割合が多い傾向がある。個人情報など重要なデータは原則持ち出さない。教員の定数増による正規教職員枠の拡大は長時間労働の改善にとって不可欠と考えている。

道路事業促進の要素は

問 道路改良が地域で話題になってから供用開始までに多年を要するが、住民にとっては今どの時点なのかわからない。

県道西明寺安部居線は、中之郷～賀川神社の第1工区と、賀川神社～国道307号諸



第1工区と第2工区の分岐、賀川神社前。現道は大きく左折し常永橋へ進む。

木大橋までの第2工区に分かれ、現在は第1工区のみが具体化しているが、万一、第2工区の着工が大幅に遅れるとか、着手されないという恐れはないか。

主要地方道石原八日市線の蓮花寺バイパスから綺田信号号までの数百Mは東近江市(旧蒲生町)側の地主と耕作者の了解も得られ、測量・設計もなされたと聞いているがどうか。

早期着工を願う関係住民の方々は、自分たちの「自助努力」で前進はあるのかと期待をこめて尋ねる方もある。促進要因や阻害要因があるのでしょうか。

さらに、これら生活関連道路の進捗状況は、住民にはどのような方法で報知されるのか。

答 アクシオンプログラムの

内容は県のホームページや各土木事務所、市町でもご覧いただける。西明寺安部居線は今年度中に用地買収と農水管移設工事に着手予定。第2工区は第1工区の整備に目途がついた時点で事業着手と聞いている。進捗状況等は改良促進期成同盟会を通じてお知らせしている。石原八日市線は詳細設計・用地測量中で補償調査も発注と聞いている。

道路工事は、地元の熱意や地権者の同意を受け、役員・議員の陳情、役場職員が予算をよく研究し、それぞれの立場で力を尽くす、そういう「日野方式」が功を奏すると考えている。

議員のコメント

教員の長時間労働解消は教員の健康問題のみならず、子どもの学力向上や生活の安定に直結する。ぜひ教職員定数増を。

道路事業は蓮花寺バイパスなど住民の努力で当初計画より早まった例もある。住民全体がそれぞれの持ち場で促進に向けて力を尽くすという「日野方式」の前進に期待したい。

日野町の危機管理のあり方

町道西大路鎌掛線と定住宅地整備計画の進捗

家畜伝染病対策に伴う有害鳥獣駆除のあり方



山本 秀喜 議員

日野町の危機管理は

問 住民の皆さんの安全は絶対に確保しなければなりません。日野町の過去の災害事例を基に、安全への先取りは不可欠であることを訴えました。人的被害をゼロにするためには、過去の災害を教訓に捉えること、想定される災害に対してリスク管理を含めた危機管理が、今、問われています。町の危機管理が総合的にマネジメントできていないように思うが。

答 危機管理については、自然災害をはじめ各種施設の管理、学校等の運営や行事、感染症、情報管理など、行政のあらゆる業務や事業において、安全への配慮や危機管理に対する備えが必要になっています。町では、様々な事態に応じて、法令等の定めにより町の条例や規則等で体制を整えているものもあれば、日頃の業務や訓練を通じたりスクへの備えを、担当する

各部署により行っています。

特に、災害などは所属だけでなく適切な体制を事前に整える必要があり、職員間での情報共有を図るため、主監課長会等で協議し対応しているところです。



日野町総合防災訓練

町道西大路鎌掛線と定住宅地整備計画の進捗について

問 西大路で進められている大型案件、2件についての進捗を伺いました。

答 ①町道西大路鎌掛線の道路改良工事について、現在のところ西大路側900mで予備設計を進めており、日野川に架ける橋梁区間80mを含めて、全区間の予備設計が令和元年10月末に完了する予定としています。今後のスケジュールは、詳細設計・用地取得・道路、橋梁工事となり、全線の工事完了は令和9年前後となる見込みです。

②定住宅地整備計画事業については、平成30年12月20日に日野町と滋賀県土地開発公社が業務支援に係わる協定を締結し、事業完了に向けて取組みを進めています。

現在、測量業務と併行して設計業務に着手しており、用地買収を含め実施設計を令和2年3月には完了、宅地造成を令和2年度中、分譲開始を令和3年度からの予定で進めています。



定住宅地現地予定写真

家畜伝染病対策に伴う有害鳥獣駆除のあり方について

問 農林水産省は5月28日に家畜伝染病「豚コレラ」のまん延を防ぐため、滋賀県でも野生イノシシへのワクチン入りの餌の投与を検討する方針を示したとの報道を基に、次のことを質問しました。

野生イノシシへのワクチン入りの餌の投与とはどのような

な方策を取ることになるのか。有害鳥獣駆除との連携はどのようなになるのか。

答 豚コレラ経口ワクチン対策検討会が開催され、愛知県、岐阜県におけるワクチンの使用状況等の報告、また今後の計画の検討がなされた。滋賀県では、野生イノシシでの「豚コレラ」の発生はなく、現時点ではワクチンの使用は考えていません。投与とは、掘り返して餌を食べる習性を利用して餌付けを行い、餌状のワクチンを食べさせる方法です。有害鳥獣駆除との連携については、死亡した野生イノシシの抗体検査をされており、情報収集を市町や狩猟団体に協力を依頼されている状況です。

議員のコメント

住民の皆さんの知りたい情報、抱えている課題や問題点を聞き、適時分かりやすくお答えしていきます。他に、日野町のゴミ減量対策も大きな進捗が見られず、問題であると考え質問しました。



池元 法子 議員

国保税の子どもの均等割の減免を 「幼児教育・保育の無償化」の問題点

子育て支援の施策として

問 全国知事会は、国民健康保険への一兆円規模の公費負担増を政府に求めており、「均等割」「平等割」を抜本的に見直す必要を訴えています。

ぜひ、わが日野町での子育て支援のため、子どものため均等割減免を願うものです。そこで、次の4点をお尋ねします。

- ① 2019年度の0歳児童から高校3年生（18歳）までの世帯数と人数は。
- ② 均等割を減免した場合の金額は。
- ③ 減免分の計算式は。
- ④ 協会けんぽと国保の格差についての考えは。

答 ①世帯数245世帯、人数431人。

- ② 一人あたり、医療分が2万3000円、後期高齢者支援分が8500円、合わせて2万8800円となる。
- ③ 均等割額2万8800円×431人＝1241万2800円。

1241万2800円マイナス低所得者法定軽減分388万5120円＝852万7680円となる。

④協会けんぽと比べ、年齢構成が高く所得水準が低い等、国保税の負担率が高いという構造的な問題を抱えている。

具体的に「国保」と「協会けんぽ」の保険税を計算してみると年収400万円の大人2人子ども2人の世帯で、国保の方が1.66倍高く、改めてその格差を認識した。

ただ、独自で導入することについては、町財政上難しい問題が多々ある。国が制度設計した社会保障制度であるため、子どもに係る軽減措置についても、国全体、社会保障制度全体で対応されるべきものだと考えている。国保連合会や町村会と連携した中で、財政支援の拡充を引き続き要望していく。

問題多い「無償化」

問 今年10月の消費税10%への引き上げと抱き合わせで実

施するとしています。対象年齢は、原則3歳から5歳、恩恵は比較的所得の高い世帯に偏り、低所得者への恩恵は少ない、給食費は実費化される等々の問題があります。

そこで、日野町における次の点についてお尋ねします。

- ① 今回の「無償化」で恩恵を受けるのは年収何万円以上、何世帯となるのか。
- ② 給食費が実費化されることから、負担増になる世帯はあるのか。
- ③ 待機児童解消、保育士の確保・処遇改善はされているのか。
- ④ 来年度以降の町の新たな負担はどれくらいになるのか。

答 ①恩恵を受ける世帯は、生活保護世帯以外460人程度となる。また、一番恩恵を受けるのは年収500万円以上で、軽減額は年額36万円となり、それ以上の家庭が大きな恩恵を受け、およそ40%である。

②主食費はこれまでのように公費負担し、保護者負担は幼稚園で

3600円、保育所で4100円としている。免除措置があるので、負担増になる対象者はいない。

③今年度は1名の待機児童が出た。無償化に伴い来年度以降に申し込みが増えることが予想されるが、既存施設等を有効活用で対応したい。保育士の確保については随時募集を行い柔軟的な採用を行っている。処遇改善については、国の制度で交付金を活用し、私立保育所の職員に対応している。

④来年度以降についての財政負担は、公立施設は全額町負担とされ、私立の施設は、国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1となり、公立私立合わせて町の負担見込みは7000万円。消費税増税分と交付税にて財源確保すると考えていますが、しっかりと目に見える形で国が責任を持つてもらえるよう今後もあらゆる機会に要望していきたい。

議員のコメント

1. 引き続き国への強い要望を続けてもらうとともに、わが町での実施の検討を望みます。
2. 私たち議員もよりよい制度となるよう、協力していきたいと思っています。

通学路の交通安全確保について



谷 成隆 議員

通学路の交通安全確保について

問 通学路の安全点検は、平成24年度の緊急合同点検実施以降、毎年各小学校で順番に通学路安全対策アドバイザーと共に実施されています。児童たちが安全で安心して登下校できる通学路であって欲しいものですが、起きてはいけない悲惨な事故が後を絶ちません。

5月8日、大津市の県道交差点で軽乗用車が歩道に乗り上げ、保育園児13名と保育士3名の列に突っ込み、園児2名が亡くなる悲惨な事故が発生しました。日野町を見ても歩道が整備されている道路は少なく、幅員も狭い道路が児童たちの通学路になっています。

①日野町各小学校の通学路および交差点の危険箇所の現状を把握しているか。防犯事例も含め事故、事件の発生時の学校、保護者、警察の対応は

どうか。

②日野小学校に登下校する上野田(いせの)の児童61名(内1年生15名)が、道幅が狭く歩道のない道路の溝に足を取られ、冬時期には雪が積もれば歩けない町道を登下校している。



上野田地先通学路

3年前にも質問したが、当時より児童数が増えているが、改善が出来ていない。通学路の交通安全確保をどの様に考えているのか。

③国道307号の松尾交差点(ひばりの公園前)の交通安全確保の対策は。

④日野駅無料駐輪場から県立日野高校に通学する学生が県道日野徳原線を横断されるが、

車の量や速度が速くいつ交通事故が発生してもおかしくない状況である。安全確保をどう考えているのか。

答 ①通学路点検は亀岡市の事故以降、毎年4月に東近江警察署等関係機関と合同で町内を2グループに分け実施。各学校では、PTAと連携を図り、保護者や子ども目線からの意見を聞き、危険箇所を町に報告されている。交通事故は人身事故が平成30年に1件、防犯事例は平成30年に2件、今年に入って6件発生。警察からの情報は、役場住民課に提供いただき、教育委員会、小中学校、教育委員会所管の施設に周知している。児童生徒から不審者情報を得た場合は、警察に通報し、教育委員会から住民課や各施設へ情報提供している。不審者情報は必要に応じて「日野めぐる」で発信し、住民の皆様にも周知、各地区安全なまちづくり協議会会長に連絡している。

②学校と保護者が危険箇所の再点検を進めるなかで、字別懇談会などで話し合われる予定。

③道路管理をしている滋賀県で施設の損傷具合の点検をされた。安全対策は、東近江土木事務所へ要望を行った。

④前年度、町道との交差点に疑似停止線を設置、県道の安全対策は、東近江土木事務所へ要望を行った。

議員のコメント

毎日のように子どもたちが巻き込まれる事故・事件・高齢者による交通事故が後を絶ちません。また、日野町においては不審者事例が増えつつあり、事件に巻き込まれないためにも一日でも早く児童たちが安全に安心して登下校できる通学路になるため、また、犯罪を起させないためにも犯罪の抑止力にもなる「防犯カメラ」の設置の必要性を要望します。



齋藤 光弘 議員

ふれあい綿向山 DAY 開催支援を 日野町老人クラブへの支援を

ふれあい綿向山 DAY 開催支援を

問 主催の実行委員会の高齢化等でイベント開催が大変困難になってきていることから、11月10日ふれあい綿向山 DAYの成功を祈り、円滑かつ効果的に事業が実施されることを願います。

① 駐車場警備の協力体制は。
② 駐車場の確保は。
③ 登山道の安全確保、道路整備等の事前準備は。
④ 関連団体等への後援協力体制を強化できないか。

答 ① 昨年は警備会社に委託し上手く出来ていなかった面もあったことから、今年は町職員の出役も含めて実行委員会と町で検討していきたい。
② 今年も周辺の土地を有効に活用させていただけるよう、地元との協力をお願いしながら準備を進めていきたい。
③ 関係団体のご協力のもとイベント参加者が安心安全に登れる

よう、綿向山を愛する会や綿向生産森林組合の取り組みに加えて、実行委員会でも事前準備に取り組み予定です。
④ 新たな団体への後援協力要請などを実行委員会の中で議論いただき、イベントが円滑に実施できるよう取り組んでいきたいと考えています。



登頂記念に登山証明書が貰えます



昨年の綿向山山頂での様子

日野町老人クラブ への支援を

問 高齢社会の中、日野町老人クラブ連合会を脱会される単位老人クラブがあり、クラブ数、会員数ともに減少している現状の課題を共有し、老人クラブの会員増強、活動の充実に向けた支援を願います。

① 老人クラブ連合会への会員減少対策は。
② 地域づくりリーダー養成は。
③ 老人クラブの活動充実に向けての支援対策は。

答 ① 老人クラブの活性化の課題を共有し、老人クラブと連携を図っていきたい。
② 去る6月4日には、各単位老人クラブの役員を対象に研修会を開催され、老人クラブの役割や意義について理解を深められました。次世代を見据えた魅力ある組織となるよう検討を進める「日野町老人クラブ活性化臨時特別委員会」を設置されると

伺っている。
③ 日野町老人クラブ連合会および単位老人クラブに対して、毎年活動補助金を支出し、今年度も総額337万円を計上している。また、日野シルバー大学開講の共催や県内研修等の支援をしています。



老人クラブ連合会では、上の広報を発行され、会員募集をされています

議員のコメント

多様化する社会背景の中、各事業をこれまでと同じように持続していくことが大変困難になってきています。
こうした町の課題を共有し、共通認識のもとで、どうすればよいか。みんなで考え方を合わせたいものです。自主的なご参加をお願いします。

子どもの安全を守る対策を 空き家対策について



中西 佳子 議員

子どもの安全を守る対策を

問 本町も各地の事故を教訓として通園、通学や散歩時の安全対策を進めていただきたい。また、小・中学校の通学路や路上で不審者からの声かけや後をついてくる等、子どもたちの安全が脅かされる事案が発生している。犯罪・事故のないまちを願う。①通学路の安全対策で信号機のない国道の横断歩道の安全対策は。②「ゾーン30」への考えは。③現在、地域で防犯パトロールや見守りをしていただいている。連携体制は。見守りが必要な場所は。子ども110番の家の拡大は。④防犯カメラの設置状況と今後、公園や通学路への計画は。



国道の横断歩道

答 ①信号機のない国道横断箇所は国道477号で、中学校通学路で3箇所、小学校通学路1箇所、児童・生徒に対して交通ルールを守り安全確認をし、登下校するよう指導し、近接する交差点に信号機がある場合は、その交差点を利用するなど通学路を見直しや危険箇所の再点検をしている。

②ゾーン設置にあたっては走行速度の抑制他、必要に応じて車道の幅員の減少や人口の制限等があり、その区域で生活されている方の理解が必要になり、警察署、道路管理者、地域住民を含めて十分な協議と慎重な判断が必要である。

③7地区の安全なまちづくり協議会の代表の方が集まる連絡会を設け、報告や情報共有を行っている。危険な場所については、通学路を中心に見守り活動を進めている。子ども110番の家は231箇所あり、PTAと連携を図り取り組んでいただいている。

④町が管理している防犯カメラは84台、安全なまちづくり協議

会等管理は10台です。今後の設置計画はなく、犯罪を許さない地域づくりを進める。

空き家対策について

問 本町においては、平成27年度調査で、空き家等総数は、431戸と聞いている。利活用出来ない危険な空き家が様々な影響を及ぼしており、近隣や地元自治会が苦慮されている。町の空き家対策について伺う。

①町の空き家の現状は。
②空き家・空き地の利活の状況は。

③特定空き家や近隣に影響がある空き家等に適正な管理を促す通知等の効果は。

④所有者や管理者が特定できない場合、行政はどう対処されるのか。

答 ①空き家等実態調査以降、特定空き家2戸を含む5戸の解体を確認した。現在の空き家の実態については、今年度調査を実施する。

②日野町空き家・空き地情報登録制度において、令和元年5月末で、54世帯136人の利用があった。登録物件を増やし、利活用を推進するため、ホームページや広報などで周知を行うほか、税務課からの課税通知に登録制度のお知らせを同封し所有者にも働きかけている。

③連絡が取れない物件もあり、引き続き粘り強く改善に向けて取り組む。

④特別措置法に基づく税務情報や登記情報等による検索など所有者の特定に努めている。今年度より日野町空き家対策計画の策定に向けた取り組みを進めている。町の空き家等の実態に合わせた対策や実施主体の役割などを計画に盛り込み、取り組んでいきたい。

議員のコメント

子どもたちが安心して登下校出来る環境整備を望みます。また、日野町空き家対策計画の策定により、空き家対策が進むよう期待します。



住民とまちづくりについて —住民参加の自治実現に向けて—

※わかりやすいように、できるだけ簡単な表現に編集しています。

野矢 貴之 議員

住民とまちづくりについて

14人の議員が選挙で選ばれ、4年間の議会活動が新しく始まった。今後、より良い提案をしていけるように、まずは、根底にある問題の共有を目的として質問した。

問 日野町のスローガン「ひびきあい自治の力で輝くまち」にもある「自治の力」とは？

答 主役である住民のみなさんが、自分たちで考え、自分たちで行動し、相互に助け合い取り組むこと。

問 住民の意思が反映される、つまり住民参加の自治である。現在日野町における住民参加とは？

答 公民館や地区社協に代表されるような地域活動や参政権（政治に参加する権利）がそれにあたる。

住民参加について

他国他都市の事例において、住民参加は、満足度・幸福度につながり、重要なキーワードである。「広報ひの」6月号、住民意識調査の結果を参考に、分析した。

問 町政への満足度の結果（％）はどうか？

答 おおむね約6割の方が満足されている。

問 特に低い数字のもの

- ・ 町外の人に魅力を自慢
- ・ 町民からの要望の反映
- ・ 議会の役割
- ・ 住民自治のまちづくり

の原因は住民とのコミュニケーション不足と考えられる。他にも、昨年の男女共同参画懇話会公募への応募人数が「1人」であった。現状では、住民参加が十分とは言えず、改善の余地があるのでは？

答 役場としても工夫が必要である。

問 住民参加の自治を実現するために、議会は議会改革を

全員参加の特別委員会としておこなうが、そこできないこともある。議会も行政も民間も、協力してやっていく必要があると思うがどうか？

答 住民・議会・行政3者がそれぞれ役割を果たしていくことが大切である。議会からも行政への政策提案をいただき大いに議論して協働ですすめたい。



問 一番身近な住民参加が選挙であるが、投票率の低下が問題である。投票の仕方、意味、選び方などを学べる機会を多くつくってほしい。

他市町を参考に、年齢別の投票率の開示や、選挙公報をホームページに掲載するなど、できることがあるのではないかと？

答 年齢別の投票率については、推計でおこなう場合があるが、町議会議員選挙では実施していない。

選挙公報はデータ化を協議中で、配布方法も検討中である。

議員のコメント

◆今回の成果

住民参加の自治は重要であるが、日野町の住民参加は十分とは言えない、という現状の認識を共有できた。

◆今後の課題

首長と議会は住民参加の投票結果であるが、それは住民参加の入り口にすぎない。『住民参加の自治』という言葉だけでなく、実際に住民活動のサポートとなるような施策が必要だ。

住民意識調査について

ひきこもりへの対応について



堀江 和博 議員



【答】 今年1月、18歳以上の方2500人を無作為抽出し、郵送で依頼をし、51・4%の回収率であった。また、地元日野高校生2年生の127人にもアン

ケートを実施している。住民の皆さんの貴重なご意見であると考えている。これから第6次総合計画を策定するにあたり参考にさせていただきたいと考えている。年代や地域、生活状況なども異なっているが、そのような違いをクロス集計し、データ分析を行い、町づくり懇談会や住民懇話会など議論を深めていただくために活用して参りたい。（その他の結果等については、広報ひので順次掲載予定）

【問】 今年1月、「住民意識調査」（広報ひの6月号掲載）が実施されました。結果をどう受け止め、いかに活かしていくのかお教えください。

住民意識調査について

ひきこもりについて

【問】 「ひきこもり」とされる方の人数は、全国で100万人に達しているとされています。当事者や家族はどこに助けを求めればいいのか、受け皿の早急な整備が求められています。町内におけるひきこもりの現状と対応についてお教えください。

【答】 ひきこもりについての町の窓口は「福祉保健課」としては、現状として、本人や家族から直接相談があるのは稀で、第三者からの相談が年に数件程度となっている。「ひきこもり」は状態であり、そこに至った原因がある。ひきこもり支援に特化した窓口を設置しても実際の相談や支援に結び付かない。町では、人のかかわりを苦手とされている方や生活困窮者への就労支援等、「働くための支援」や「生活に関する支援」を通じて、結果的に「ひきこもりの方」に対する支援につながるかと考えている。

議員のコメント

【住民意識調査について】 他にも「教育環境が良い」など、質問項目であいまいな聞き方しているものも散見されることを指摘し、価値ある調査を実施すること、また、若者の回収率が悪いことから、いかに若い世代の意見を抽出するか十分検討していただくよう要請しました。

【ひきこもりについて】 執行部との答弁では、日野町としては「ひきこもり」に特化した窓口は設置しないということでした。しかし、今現在悩まれている当事者やご家族に寄り添い、また今後増加も想定されることから、住民によって分かりやすく利用しやすい「ひきこもり」相談窓口を設置すること、また、広く住民に周知することを訴えました。現状の窓口は「福祉保健課」です。住民に寄り添った、さらなる対応を望みます。

条例の制定・改正

◆日野町使用料条例等の一部を改正する条例の制定（原案可決・全員賛成）

関係政令の制定公布に伴い、本年10月1日に消費税率が8%から10%に改定されることから、グリム冒険の森の施設使用料の改定および関係条例の消費税に関する記載の整理を行うもの。

補正予算

◆一般会計（原案可決・全員賛成）

全国的な制度改正等への対応や国・県の補助事業の交付決定等に伴うものなど早期に対応を要する事業について予算措置を講じたもので、歳入歳出それぞれ1億1516万6000円を追加し、予算総額は91億5450万7000円となりました。

増額補正の主な事業(歳出)

介護保険特別会計繰出金841万2000円、公立保育所運営事業864万7000円、予防接種事業771万4000円、社会資本整備総合交付金事業7660万8000円、社会資本整備総合交付金事業(防災・安全)936万円

◆介護保険特別会計（原案可決・全員賛成）

本年10月の消費税引き上げにより強化される低所得者への介護保険料の軽減措置に対して必要となる経費や軽減措置に対応するためのシステム改修に要する経費について予算措置を講じたもので、歳入歳出それぞれ143万2000円を追加し、予算総額は21億403万2000円となりました。

報告

◆平成30年度日野町一般会計繰越明許費繰越計算書

◆平成30年度日野町公共下水道事業繰越明許費繰越計算書

◆平成30年度日野町農業集落排水事業繰越明許費繰越計算書

意見書決議

◆幼児教育・保育無償化の円滑な導入を求める意見書決議（原案可決・全員賛成）

▽提案者…中西佳子総務常任委員長

幼児教育・保育無償化の円滑な導入を求める意見書

政府は、少子化問題の一因となっている子育てや教育にかかる負担を軽減するため、3歳から5歳までのすべての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の保育料を無償化するなどとし、消費税が増税される本年10月から実施することを決定した。

その財源については、消費税率引き上げに伴う増収分を活用するという基本的な考え方を示している。

しかし、幼児教育・保育の無償化が新たな需要を呼び起こし、利用希望者が増えることによる受入施設や幼稚園教諭・保育士の不足、また、地方自治体の財政負担の増加などが懸念されている。さらに、認可外保育施設等も対象となることによる保育の質の確保も課題である。

よって、国会および政府においては、待機児童解消や幼児教育・保育の質の確保の取り組みと併せて、幼児教育・保育の無償化の確実で円滑な導入を図るため、下記の事項について取り組まれるよう強

く求める。

記

1. 幼児教育・保育の無償化の実施にあたっては、来年度以降、厳しい財政状況の中、地方自治体に新たな財政負担が生じないよう、国の責任において必要な措置を行うこと。
2. 幼児教育・保育の無償化の実施にあたっては、認可外保育施設の保育の質を確保するような施策を講じること。
3. 無償化に伴う保育需要の拡大等に対応するための幼稚園教諭および保育士の人材確保や施設の整備に対しても財政措置など必要な支援策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和元年6月26日
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣 様
滋賀県蒲生郡日野町議会 議長 杉浦和人

提出された議案

第2回臨時会(5月15日)

専決処分の報告

◆日野町税条例の一部を改正する条例の制定について(原案可決・全員賛成)

関係法令等の制定公布に伴い、住宅借入金特別控除に係る控除期間の拡充のほか、所要の規定を整備。

◆日野町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(原案可決・全員賛成)

関係政令の制定公布に伴い、第1号被保険者に対する介護保険料の軽減措置を強化(減額幅の引き上げと軽減措置の対象を拡充)。

◆日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(原案可決・全員賛成)

関係法令等の改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を3万円引き上げるほか、軽減判定所得の算定における加算額を引き上げる改正。

人事案件

◆日野町固定資産評価員の選任(同意・全員賛成)
山口明一氏(松尾)

条例の制定・改正

◆元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定(原案可決・全員賛成)

元号を改める政令の施行に伴い、平成31年5月1日以降の日付等の表記を平成から令和に改正。

◆日野町税条例の一部を改正する条例の制定について(原案可決・全員賛成)

個人町民税ふるさと納税制度の見直しに伴い、寄付金控除額の措置対象を都道府県、市町村に対する寄付金から特例控除対象寄付金に改めるもの。

◆日野町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する

条例の制定について(原案可決・全員賛成)

関係省令の制定公布に伴い、家庭的保育事業者が行う保育や食事の提供における基準が変更されたことによる所要の改正。

◆日野町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(原案可決・全員賛成)

関係省令の制定公布に伴い、放課後児童支援員の資格等に係る規定の改正。

特別委員会の設置

予算特別委員会、総合計画特別委員会、地方創生特別委員会、議会広報特別委員会、議会改革特別委員会の設置について、それぞれ全員賛成で原案可決しました。

*議会人事の議案は第6号で掲載済のため省略

第3回定例会(6月議会)

人事案件

◆日野町清田財産区管理会財産区管理委員の選任(同意・全員賛成)

油浦豊一氏、藤澤庄藏氏、村嶋晴一朗氏、
清水秀久氏、藤澤義治氏

工事請負契約の締結

*2ページに
関連記事掲載

◆町道西大路鎌掛線道路改良工事(その4)(原案可決・全員賛成)

▽内容…施工延長580m(道路土工、舗装工、法面工他)

◆日野町立日野小学校トイレ改修工事(原案可決・全員賛成)

▽内容…和式便器を洋式便器に更新(28箇所)他

財産の取得

*2ページに
関連記事掲載

◆日野町消防団消防ポンプ自動車(原案可決・全員賛成)

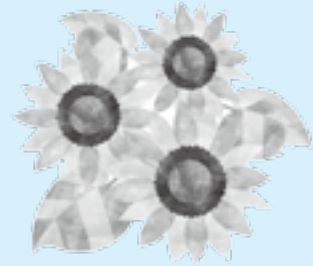
▽内容…第2分団の消防ポンプ自動車を更新



の 報 告

◎常任委員会

- ◆総務常任委員会…財政、消防、教育、文化などの事務に関する調査。議案、請願などを審議。
- ◆産業建設常任委員会…産業、経済、観光および建設に属する事務に関する調査。議案、請願などを審議。
- ◆厚生常任委員会…社会、厚生、労働および水道に属する事務に関する調査。議案、請願などを審議。



6/17 総務常任委員会

委員長 中西 佳子

本委員会への付託案件、日野町使用料条例等の一部を改正する条例の制定については、消費税改正に伴う条例改正であり、関連事項があるため、三常任委員会の連合審査会を開催し、審査を行いました。その他、工事請負契約、財産の取得についての2議案の審査を行い、すべて全員賛成で原案どおり可決されました。

幼児教育・保育無償化の円滑な導入を求める意見書決議案についても議論を行い、来年度以降も地方自治体に財政負担が生じないよう、国に必要な措置を求めるものであり、全員賛成で採択し、意見書案を提出いたしました。

6/18 産業建設常任委員会

委員長 山田 人志

新たな顔ぶれでの初委員

会とということに加え、今回は付託案件が1件でしたので、議案審議の他に継続中の事案に関する状況把握と意見交換を行いました。

付託案件の町道西大路鎌掛線改良工事の請負契約に關しても継続事業なので、事業の全体計画を把握したうえで質疑応答を進め、その結果、採決では全員が原案どおり可決することに賛成をしました。

6/18 厚生常任委員会

委員長 齋藤 光弘

本委員会の付託案件は「介護保険特別会計補正予算」の1件であります。10月からの消費税増税に伴い第3段階までの低所得者への介護保険料の軽減措置と介護報酬の処遇改善その対応のためのシステム改修がされます。全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しました。

委員会閉会后、勤労福祉

会館隣の女性活躍支援施設「つどいのひろばほけつ」と松尾公園(芝生広場)と日野学童保育所「ヒノキオC・D」を視察研修しました。(写真)



松尾公園(芝生広場)を視察する委員

6/17 予算特別委員会

委員長 中西 佳子

今回提案された一般会計補正予算は、制度改正等への対応や国・県の補助事業の交付決定等に伴う予算措置となっており、幼児教育・保育無償化に対応するシステム改修や風疹の感染拡大を防ぐ予防接種事業等

委員会

◎特別委員会

- ◆予算特別委員会…主に一般会計予算を審査。予算編成方針等について調査などを行う。
 - ◆総合計画特別委員会…第6次日野町総合計画の策定にあたり、提案、審議、調査などを行う。
 - ◆地方創生特別委員会…主に町の活性化や町民が豊かに暮らせるよう、提案や意見交換、調査などを行う。
 - ◆議会改革特別委員会…主に、町民の声を活かし、開かれた議会にしていくための提案や意見交換を通じて、より町民の身近な存在としての議会活動の研究を行う。
- ◎他に議会運営委員会、議会広報特別委員会を設置。9月の決算審査時には決算特別委員会を設置。

であり、特に社会資本整備総合交付金事業は、国土強靱化で沢山の交付金決定があり、多くの質問が出されました。担い手育成対策では機械の共同利用や補助金への意見がありました。

今回の補正予算については、全員賛成で原案どおり可決されました。

6/19 総合計画特別委員会

委員長 山田 人志

町の最上位計画が総合計画です。

日野町では現行計画の残り期間が2年を切ったことから次の総合計画づくりに着手しようと言われていますが、当委員会は、その2・3歩前を進んで、助言や提案をしようという目的で新たに設置されました。

その意味で、質問型ではなく、まさに提案型の委員会です、今年度中の政策提言をめざしています。

今回は初委員会なので、

現行計画の評価を行うとともに、次期計画の策定に係る執行側の考えを聞き、次回以降に検討する課題の整理を行いました。

6/19 地方創生特別委員会

委員長 池元 法子

日野町議会第17期初の地方創生特別委員会は、(1)日野町における幹線道路・企業誘致を中心に現状と今後の取り組みについて、(2)人口減少、若者が安心して住み続けられる町づくりについて、それぞれ担当課より説明を受けたあと、質問や意見交換を行う方法で進めることとなりました。

若者との意見交流、日野町独自の強さ・面白さを活かした取り組みを進める必要など、それぞれ各委員より前向きに活発な意見が述べられました。

6/20 議会改革特別委員会

委員長 堀江 和博

当委員会は、議会・議員のあり方や活動などを今一度見つめ直し、「住民の皆さんに信頼される議会づくり」を目指して、議会の改革・活性化をおこなう委員会です。

6月20日におこなわれた委員会では、14名の議員全員が出席し、全国や日野町議会のこれまでの経緯を確認した後、議会に関する問題意識や改善点などを話し合いました。今後、先進地などの視察・研修などを継続的におこない、従来の取り組みにおける改善点や新たな取り組みなどを順次話し合い、具体的な改革をおこなっていくことを確認しました。まず7月23日に、先進地の大津市議会の視察研修をおこないました。

夏 まちの話題



目野祭に32,000人

今年の目野祭は850年の節目に当たり、亥年ともあいまって、また好天にも恵まれ、県内外から3万2000人（宵宮とも、主催者発表）の人数でにぎわいました。14基の曳山のうち、今年は清水町の曳山がひばり野の御旅所まで渡御し、沿道ににぎわえました。

（写真上・写真提供：日野観光協会）

藤の寺（鎌掛・正法寺）にぎわう

今年はしゃくなげがやや期待外れでしたが、「藤の寺」として有名な正法寺の藤は5月中旬に満開になり、遠来の観光客や参拝客でにぎわいました。

（写真下右）

こどもひろば「ぼけっと」オープン

これまで中之郷の旧東桜谷幼稚園でひらかれていた児童交流施設「ぼけっと」が、5月末、勤労福祉会館横に新たに開設されました。新しい施設には就園前の子どもや親同士の交流という従来の役割に加えて、女性の就労支援窓口などが加わりました。

（写真下中）

また、屋外には遊具を備えた芝生広場や駐車場も整備されました。

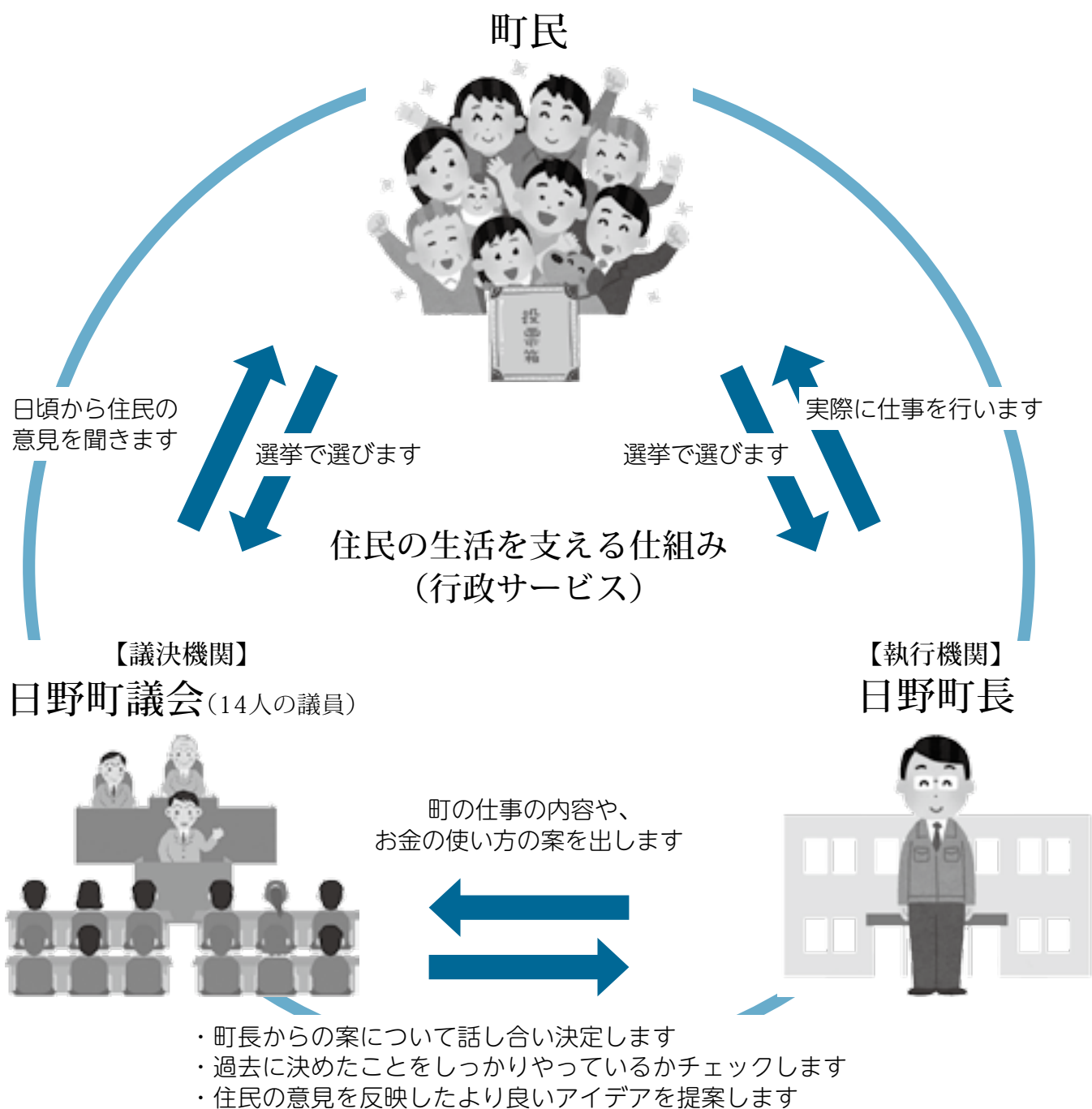
（写真下左）

議会を身近に

#5 まちの仕組み

【まちと町長と町議会】

まち（地方自治体）は住民の生活を支える仕組み（行政サービス）を提供しています。私たちが住んでいる日野町を快適で豊かなまちにすることは町民全員にとって重要なことですが、だからと言って町民全員が集まって話し合うことは困難なので、直接選挙によって皆さんの代表を選ぶことになります。



このような働きから、町議会を議決機関、町長と役場を執行機関と呼び、お互いに対等の立場に立ちながら、それぞれの役割や権限を尊重し合って町民の声を町政に反映させ、ちょうど車の両輪のようにバランスをとりながら、住みよい豊かなまちづくりを進めていきます。



第 39 回日野町消防団ポンプ操
法訓練大会の様子（6/23 必佐
小学校グラウンド）

中部清掃組合で視察研修を行いました。

第17期議員の内、新任議員4名は中部清掃組合の
施設3箇所を視察研修しました。（7/8）



日野清掃セン
ターにて研修



能登川清掃セ
ンターを視察



安土最終処
分場を視察

議 長 コ ラ ム



議長 杉浦 和人

新しい構成での
初定例議会を
振り返って

議長を除く全員が登壇し、住民福祉の向上に当局を
ただし、活発な議論を繰り広げていただきました。
当局におかれましては、ただされた諸案件について、
スピード感をもって対応され、政策実現されることに
期待をしています。

一方、質問と答弁が噛み合わないことや、町長から
は「質問の意味がわかりません。もう一度お願いしま
す」とあり、また他の答弁者からも「もう一度お願い
します」と再質問を求められる場面もありました。本
来、議長から「もっと緊張感を」と注意すべきであつ
たと反省しています。今後は会議録を調査して議事運
営の在り方について、全員で研修して参りたいとも考
えています。

さて、議会機能の強化を図るべく立ち上がりいただ
きました議会改革特別委員会では、議長を除く全員が
委員となり、委員長からは若者の議会への関心や投票
率向上をはじめ、政策立案・議会改革など、議員間の
活発な討議を精力的に取り組むため、全員の意見を聴
取されました。閉会中には、先進地の調査・研究も計
画されました。

議長としては願わくは、「開かれた議会」「議会の活
性化」を評価され、全国の町村議会から一目おかれる
議会を目指します。

訃報

元日野町議会議長 東 專治 様
令和元年6月6日ご逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

議員改選により、5月から新た
に議会だよりの編集委員が左記
のとおり決まりました。

「開かれた議会」「身近な議会」
を合言葉に、委員長を中、心に毎号
を議員の手作りで頑張つて参り
たいと決意しているところです。

引き続き町民の皆さんの変わ
らぬご指導とご支援を宜しくお
願い申し上げます。

（高橋 源三郎）

議会広報特別委員会

委員長	堀江 和博
副委員長	後藤 勇樹
委員	齋藤 光弘
委員	加藤 和幸
委員	高橋源三郎
委員	山本 秀喜
委員	野矢 貴之